

# 第2回

## 新しい時代の特別支援学校の 在り方検討委員会

徳島県教育委員会

# 御報告

## 第1回検討委員会を終えて・・・

### (1) 6月議会（文教事前委員会）

第1回検討委員会の概要を報告

### (2) 6月議会（本会議）一般質問

- 須見議員から提言
  - 老朽化し、手狭になっている特別支援学校を「ダイバーシティの先導モデル」として再整備
- 教育長の答弁
  - 新たなモデルと期待される「国府支援学校の機能強化」を目指す
  - 「新たな連携」を県内全域へ拡げることを目標に掲げる

## 今後の検討委員会について

第4回検討委員会（10月）において「中間報告」

# 本日の内容

1. 御協議いただきたいテーマ
2. 徳島県の特別支援学校における教育活動
3. 他県の特別支援学校における特徴的な教育活動
4. 協議

# 1. 御協議いただきたいテーマ

新たな時代の特別支援学校における  
「教育内容」は？

- 「地域から愛され，地域に必要とされる」  
特別支援学校になるためには？
- 特別支援学校から地域に向けて，ダイバーシティ  
（多様性を認めあう）社会の在り方を発信し，  
形成に向かうには？
- 障がいが重度である児童生徒も社会で活躍するため  
には？

## 2. 徳島県の特別支援学校における 教育活動

- (1) 従来からの教育活動
- (2) 学校から地域に向けた活動
- (3) 地域の方が学校を訪れる活動
- (4) これから育っていく活動
- (5) 職業的自立を目指す生徒の活動
- (6) 重度から軽度まで参加できる活動

# (1) 従来からの教育活動



## 高等部

- 障がいの程度に応じて社会の中で「暮らす，働く，楽しむ」
- 就業体験や施設体験を中心とした教育内容

## 中学部

- 体験的な学習活動による経験拡大と働く基礎づくり
- 学校行事，校外学習などを中心に学習を展開

## 小学部

- 身辺処理，生活習慣の形成
- 学び，遊び

## 幼稚部

- 人との関わりの基礎形成

## (2) 学校から地域に向けた活動

「地域から愛され，地域に必要とされる」学校になるためには，学校から地域に出て，地域の方に知ってもらうような活動が必要では？

### ○ 現在定着している活動の例

- みなとクリーン，保育所訪問
- はっぴいエコプラザ
- 国府和太鼓クラブ
- 企業依頼の植栽活動



もっと他のアイデアは？

# (3) 地域の方が学校を訪れる活動

「地域から愛され，地域に必要とされる」学校になるためには，地域の方がどんどん学校を訪れる活動が必要では？

## ○ 現在定着している活動の例

- あんま・マッサージ
- みまカフェ



まだまだ数が少ない。  
何をどのように増やすべき？



# (4) これから育っていく活動

「地域から愛され，地域に必要とされる」学校になるためには，新たな地域との関わりを育てるべきでは？

## ○ 現在育ちつつある活動の例

- 札所でのお接待活動
- 竹林再生活動
- そばの脱穀とクッキー作り
- 小・中学部段階の農業体験
- テレワーク就業体験



地域の課題を解決するような活動は？  
年齢段階や障がい特性に応じた活動は？

# (5) 職業的自立を目指す生徒の活動

従来から職業的な教育に力を入れてきたが、新しい時代に応じた作業内容や、個々に応じた進路選択ができる体制づくりが必要では？

## 従来からの作業内容

- あんま・マッサージ
- 理容
- 木工，園芸，縫製，
- クリーニング

## 新たな作業内容

- ビルメンテナンス
- 介護
- 商品管理
- テレワーク

## 教育体制の在り方

教育内容が固定された学科 → 個に応じた作業を選ぶコース制

新しい時代に応じた職業分野は？

幅広い内容を学びつつ個に応じた進路を選ぶ体制は？

より重度な障がいのある生徒も職業的自立につなげるには？

## (6) 重度から軽度まで参加できる活動

障がいの種類や程度に関わらず，様々な子どもが社会参加するためには，スポーツや芸術の分野での教育内容の充実が必要では？



- 現在取り組まれている活動

- 障がい者スポーツの振興

- ボッチャ，ゴールボール，卓球など

- 芸術活動の振興

- きらめきアート展，地域の作品展



生涯を通じてスポーツや芸術を楽しむためには？  
アートなどの分野で，重度の児童生徒が活躍できないか？

### 3. 他県の特別支援学校における 特徴的な教育活動

- 今，徳島県立にはないけれども，  
今後実現すべきものは何か？

# 軽度障がいの児童生徒の職業的自立

## 栃木県立宇都宮青葉高等学園

- 作業学習「パン作り」
  - ・ 農家，シェフとの商品共同開発
- 地域の人への販売実習
  - ・ コミュニティショップ「きょうの森」
  - ・ レジ，接客，商品の陳列，自動販売機の商品補充

## 茨城県立水戸高等特別支援学校

- 生活スキル検定の実施（寄宿舍）
  - ・ 洗濯機の使い方，洗濯物の干し方・畳み方
  - ・ 整理整頓

## 大分県立高等特別支援学校(仮称)

- 令和4年4月開校予定
- コース制の導入
  - ・ 生徒全員が1年次に各コースの学習内容を体験
  - ・ 1年生の3学期よりコースに分かれて専門的に学習

# 中度～重度障がいの児童生徒の職業的自立

## 神奈川県立中原養護学校

- 視線入力装置を活用したコミュニケーション
  - ・ 障がいが重度である児童生徒の意思表示の促進

## 京都府立舞鶴支援学校

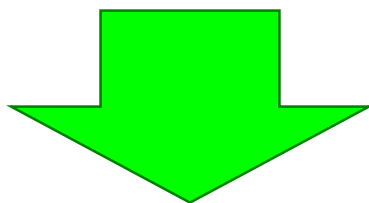
- 作業学習で非常に高度な作品の製作
  - ・ 外部の専門家を指導員に招聘
  - ・ 通信販売

## 4. 協議

## 委員の皆様からの御意見

全ての特別支援学校において

- ・ 実現すべきアイデア
- ・ 実現できるアイデア



- ・ 特別支援学校が生み出す「新たな連携」を県内全域へ拡げることを目標に掲げる。
- ・ 新たなモデルと期待される「国府支援学校の機能強化」を検討する。



# 御協議いただきたいテーマ

## 新たな時代の特別支援学校における 「教育内容」は？

- 「地域から愛され，地域に必要とされる」  
特別支援学校になるためには？
- 特別支援学校から地域に向けて，ダイバーシティ  
（多様性を認めあう）社会の在り方を発信し，  
形成に向かうには？
- 障がいが重度である児童生徒も社会で活躍するため  
には？

各委員の皆様のお立場や御経験から  
自由な発想で御意見いただきたい。